

第38回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓、時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第38回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、近森病院 形成外科 科長 杉田 直哉 先生から「糖尿病による足病変治療の基礎と実際」、また、バイタルフス高知 義肢装具士 関 耕二 先生から「糖尿病足病変に対する糖尿病靴の重要性」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)1単位を申請中です。

謹 白

第38回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 近森病院 横田 太郎

記

日 時：平成29年11月12日（日） 13:00～17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

【講師プロフィール及び講演要旨】



「糖尿病による足病変治療の基礎と実際」

杉田 直哉 先生(近森病院 形成外科 科長)

糖尿病を原因とする足の潰瘍や壊死を治療する機会は、糖尿病患者の増加とともに年々増加しています。特にPADを合併した患者や、すでに透析導入されている患者は、治療に難渋することが多く、結果的に下肢の大切断に至ることも少なくありません。国際糖尿病連合(IDF)の報告では、世界の糖尿病患者は2040年までに6億4200万人に到達すると予測しています。現在、世界では約20秒に1本のペースで下肢が切断されており、日本では年間約2万人が足を失っているとされています。下肢切断後の糖尿病患者は、肺癌の患者と同程度に予後が悪く、術後1年で3割が、術後5年で7割が死亡しているのが現状です。早期発見と早期治療が下肢切断を回避する唯一の解決策であり、平成28年の診療報酬改定として「慢性維持透析患者の下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が4月から実施されましたが、まだまだ多くの課題が残っているのが現状です。今回、足病変治療の基礎と、当院で実際に行っている足病治療について紹介させていただきます。



「糖尿病足病変に対する糖尿病靴の重要性」

関 耕二 先生(バイタルフス高知 義肢装具士)

我が国においては急激なライフスタイルの変化に伴い、生活習慣病のひとつである糖尿病患者数は年々増加し続けておりそれに伴い糖尿病に起因する下肢切断も増加傾向にある。理学療法士が行う糖尿病における運動療法は、心肺機能の改善、血糖コントロールの改善、脂質代謝の改善、血圧低下、インスリン感受性の増加が認められており、食事療法と組み合わせることによりさらに高い効果が期待できる。また、運動療法にとって靴は欠かせないものであるが、一方、靴擦れや靴の不適合、足裏に加わる不均一な過剰圧力から発症する足潰瘍など、足病変に起因する危険因子でもある。病院では足に適合した靴の指導を行っているが、患者を含め医療関係者においても糖尿病足病変患者の足は健常者の足とは異なる症状と危険性を持った特殊な足という認識が希薄である。その特殊な足に対して「適合した靴」の指導が適切に行えているかどうか疑問である。これらの下肢切断に至る危険性のある疾患に合わせた靴やインソールを供覧し、正しい靴の選び方や靴指導の重要性について詳述する。

【プログラム】

12:00～ 受付

13:00～ 13:05 開会挨拶

第38回研修会幹事 横田 太郎 先生(近森病院 理学療法士)

13:05～ 14:00 教育講演1 司 会 公文 義雄 先生(近森病院 医師)

「糖尿病による足病変治療の基礎と実際」

演 者 杉田 直哉 先生(近森病院 形成外科 科長)

14:00～ 15:00 シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」

司 会 末廣 正 先生(高知高須病院 医師)

河村まさ子 先生(高知高須病院 看護師)

① 杉本 由里 先生(高知記念病院 看護師)

「糖尿病患者における睡眠に関するアンケート調査」

② 吉田 妃佐 先生(近森オルソリハビリテーション病院 管理栄養士)

「糖尿病・高知の食事と食事療法」

③ 田村 昌士 先生(エール薬局あき店 薬剤師)

「CDE高知東部地区の取り組み」

④ 川村 昌子 先生(高知高須病院 臨床検査技師)

「慢性血液透析中の糖尿病患者における、

ABI測定時のTBI、%MAP、およびUT値の検討」

15:00～ 15:05 休憩

15:05～ 15:30 ポスターセッション(上記シンポジウムをポスターにて質疑応答)

15:30～ 16:00 総合討論

16:00～ 16:55 教育講演2 司 会 横田 太郎 先生(近森病院 理学療法士)

「糖尿病足病変に対する糖尿病靴の重要性」

演 者 関 耕二 先生(バイタルフス高知 義肢装具士)

16:55～ 17:00 閉会挨拶

第38回研修会幹事 横田 太郎 先生(近森病院 理学療法士)

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名：

ご施設名住所：〒

電話番号：() -

1. 申込み代表者名	ご職種
2. ご芳名	ご職種
3. ご芳名	ご職種
4. ご芳名	ご職種
5. ご芳名	ご職種
6. ご芳名	ご職種
7. ご芳名	ご職種
8. ご芳名	ご職種
9. ご芳名	ご職種
10. ご芳名	ご職種

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAXしてください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

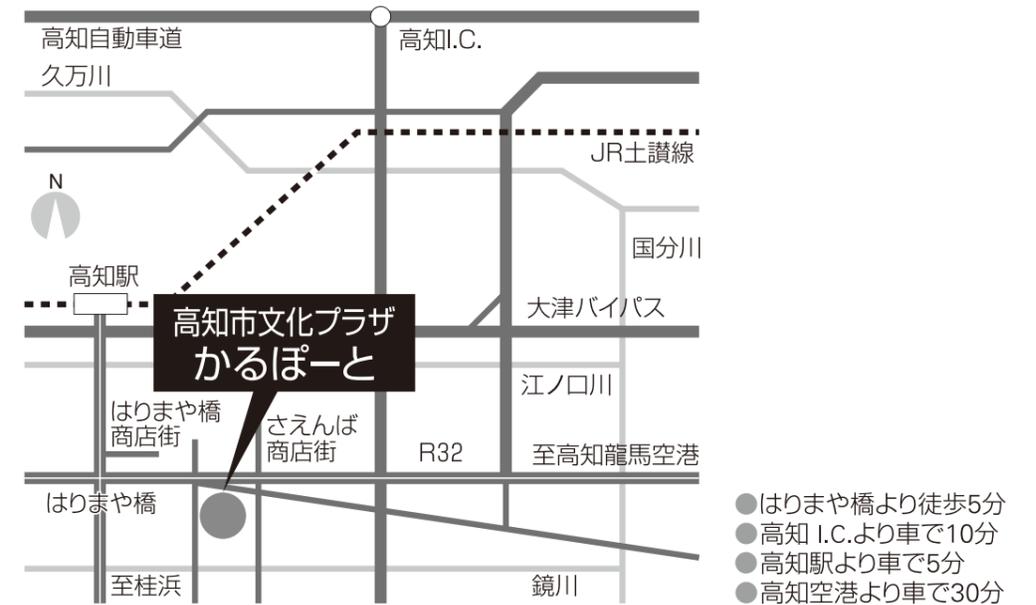
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 平成29年10月27日(金)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(2単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 生涯教育(1単位)
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(4単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修<第2群> 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会
 - ・高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度(2.5単位)

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
バイエル薬品株式会社

第一三共株式会社
公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：公益社団法人高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会